

国語科学習指導案

指導者 広島市立大塚中学校

教諭 坂本 留美

1. 日時 平成22年11月26日(金)
2. 学年・組 3 学年 2 組 (男子21名 女子17名 計38名)
3. 指導事項 (1) 書くこと エ
自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。
(2) 言語事項 (1) エ
相手や目的に応じて話や文章の形態や展開に違いがあることに気付くこと。
4. 単元名 『説得力のある文章を書こう 一意見を主張する一』
5. 言語活動 社会生活にかかわる様々な事物に対する意見を客観的・分析的に書く。
6. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○ 自分の立場や伝えたい事柄を明確にし、相手に伝わるよう表現を工夫しようとしている。	○ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように根拠を明らかにし、反論・問題点・解決策を取り入れた説得力のある文章を書いている。	○ 相手や目的に応じて多様な視点で文脈上の展開について工夫している。

7. 単元について

○児童生徒の状況

- ・ 基礎的な学力が定着している生徒が多い。全体的には、書くことに意欲的に取り組んでいる。しかし、課題を与えられただけでは書き出すことができない生徒もいる。
- ・ 3年になって書かせた、グラフを読み取りそれをもとに自分の考えを述べる意見文では、クラスの生徒の20%が、根拠が適切でなかったり、資料と自分の主張に関連がなかったりする文章を書いていた。

○教材の価値

- ・ 本教材の学習をとおして、根拠を明らかにするとともに、異なる立場の意見を想定したり、自分の意見の問題点を洗い出したりし、それらの解決策を挙げて文章を書く力を身に付けさせたい。

○指導の工夫

- ・ 文章を読み比べることで、相違点に気付かせ、より説得力のある文章にするために必要な条件を理解させる。
- ・ 理解した必要な条件を自分の意見文に取り入れ、説得力のある文章を書かせる。

8. 単元の学習と評価の計画

次	時	学 習 活 動 (評 価 方 法)
一	1	第2学年までに学習した内容を振り返る。(ワークシート)
	2	提示された二つの意見文を比較し、説得力のある文章に必要な条件を理解する。(ワークシート)
	3	提示された文章に、問題点と解決策を付け加える。(ワークシート) 本時
	4	説得力のある文章に必要な条件を取り入れた意見文を書く。(意見文原稿)
	5	書いた意見文をグループで発表し、自己評価・相互評価を行う。(評価表)

9 目標

提案の問題点と解決策を考え、文章を書く。

10 学習展開

過程	学習活動	指導上の工夫・留意点	評価規準・評価方法
確認 意欲付け	1 前時までに学習した内容を確認する。 2 本時の目標を示す。 提案の問題点を出し、解決策を考えよう。	○ 提示した文章の主張・提案の部分を確認し、提案の問題点・解決策がないことに気付かせる。	
展開	提案の問題点を出してみよう。 3 提示された文章の問題点を出す。(個人)ワークシート①記入 4 各グループから出た問題点を確認する。(全体) 問題点の解決策を考えよう。	○ 提案していることは何か再度押さえ、問題点を挙げさせる。 ○ 個人で考えた問題点を、2～3つ挙げさせ、全体で確認する。	書 A 提示された文章の提案について視点の違う問題点と解決策を考え、文章を書いている。(ワークシート) B 提示された文章の提案について、問題点と解決策を考え、文章を書いている。(ワークシート)
	5 出された問題点の解決策を考える。(個人→グループ)ワークシート①記入 6 各グループから出された解決策が適切であるか、確認する。(全体) 出し合った問題点と解決策を、まとめよう。	○ より具体的な解決策になるように、個人で考えさせた後、グループで話し合わせる。 ○ 出された解決策についての疑問点を、生徒同士で出し合うようにする。	
	7 各グループから出た問題点・解決策の中から一つ選び、提示した文章に続けて書く。(個人)ワークシート②記入	○ 提示した文章とのつながりを考えさせながら、文を書かせる。 C：問題点と解決策の前後の文章のつながりを理解させ、書き出し等を示して書かせる。	
	8 本時の学習を振り返る。 9 次時の予告をする。	○ 読み手と書き手の両方の立場になって、問題点や解決策を考えたことに気付かせる。 ○ 自分の主張文のテーマを考えておくよう告げる。	

